

線状降水帯豪雨への対応方法

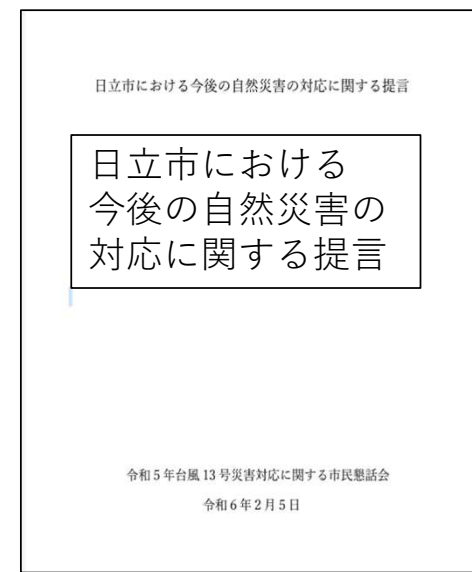
内容

1. 命を守る避難は広島土砂災害の教訓を活用
2. 命を守り損失を小さくするための
県北沿岸の流域治水のアイデア

茨城大学
理工学研究科工学野
都市システム工学領域
信岡 尚道
連絡先



hisamichi.nobuoka.311
@vc.ibaraki.ac.jp



まとめ

1. 命を守る避難は広島土砂災害(土石流)の教訓を活用

1.1. 線状降水帯からの避難（未経験地）は、土石流の避難のイメージで

2014年(平成26年) 8月の広島土砂災害

→健全者は垂直避難 & 流れの下流側へ
(河川堤防沿い住民、平屋を除く)

1.2. 線状降水帯の兆候は、抽象的予見の積み重ねで
2023年(令和5年) 9月の茨城県北部沿岸の豪雨

→2029年開始予定の市町村別の数時間前の予報まで抽象的予見で

→災害弱者など（上記健全者以外）は早期避難

空振りでも気にしない避難 + α

まとめ 2. 命を守り損失を減らすための 県北沿岸の流域治水の信岡アイデア

多くのアイデアは
国交省の流域治水・国土地域強靱化の
考え方に沿っています

流域治水



山側道路の拡張・伸長
緊急道路としての機能拡大
(3年 鈴木恵登君アイデア
+ 砂防機能・貯留施設との一体化)
+ ランドスケープ・桜

水田貯留
+ 田んぼ交流・田んぼツーリズム
+ ボランティア確保

堤防強化・・・川まちづくり

川幅拡張・・・遊歩道・桜並木

河道掘削

雨水貯留施設

道で雨水を流す・山海軸道路
+ ランドスケープ + 津波避難

- ・これから調査研究が必要
- ・住民の理解・協力も必要

復旧・強靱化支援メニュー

- 防災（減災）の講演（啓蒙活動）
- 調査・解析支援（技術支援）
- 市民との意見交換
- 市が期待する研究の実施（**官学共同**）

災害に強い日立市・力強い復興ができる市にするために

- 若い人々の発想を！
市国土強靱化地域計画に関する**学生(若者・女性) コンペティション**（4月から8月実施,9月審査）

日立市HPより

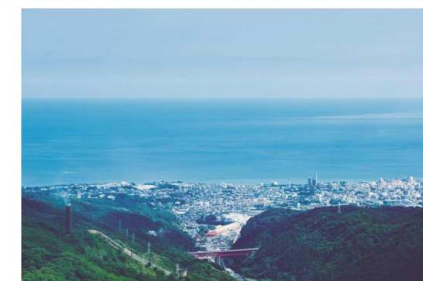


○ ■日立さくらまつり（日立風流物）



日本さくら名所100選の一つである「平和通り・かみね公園」の桜をはじめ、夏間に咲き誇る桜の中で行われる「日立さくらまつり」は日立市の春の代名詞。

○ ■大煙突（神峰山から見た大煙突）



日立鉱山を削業した久原高之助が、地域の煙害対策として1914年に建設した高さ155.7mの大煙突。新田次郎氏の小説「ある町の高い煙突」に描かれ、2019年に映画化。

○ ■海のみち（日立シーサイドロード）



日立市の夜景、
すごいらしい。

○ ■公園からの夜景（吉田正音楽記念館展望カフェからの夜景）



日本夜間通風に乗ばれているかみね公園からの夜景。

○ ■海と灯台（古房地公園）



太平洋に面し、長い海岸線をもつ日立市。6つの海水浴場と多くのサーフィンスポットが大きな魅力。

詳細資料（発表スライド）は中間報告会にご参加いただいた方にものみ配布させていただきました。

詳細ファイルをご必要の方は、お手数ですが、次のメールアドレスに、必要事項をご記入を上、ご連絡ください。（令和6年8月末日まで）

（*なお、この資料は健常者向けとなっております。健常者以外の方向けの線状降水帯における避難行動については、同メールアドレス宛てにご相談ください）

送信先 hisamichi.nobuoka.311@vc.ibaraki.ac.jp

件名：豪雨災害研究中間報告会 信岡資料の請求

本文：

ご氏名

ご所属

ファイルを必要とする理由

